

「2025日本万国博覧会」の大阪・関西誘致を応援する
指定都市市長会決議

我が国においては、アジアの国で初めて開催した1970年の大阪万博以降、1975年の沖縄海洋博、1985年のつくば科学万博、1990年の花の万博、2005年の愛知万博と、これまでに計5回の国際博覧会を開催し、世界各国の人たちが交流する場を提供するとともに、我が国の高い科学技術や優れた芸術を世界に向けて発信してきました。

現在、2025年の国際博覧会の候補地の選定が進められていますが、我が国を代表して大阪・関西が候補地に立候補しています。

ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西などの世界的なスポーツイベントに続いて、大阪ベイエリアの人工島“夢洲”を舞台に大阪市で国際博覧会が開催されれば、国際社会における日本の存在感をより一層際立たせ、日本社会全体の活性化につながるものと期待されます。

また、大阪・関西には、世界に誇る研究機関や企業、多彩な歴史的・文化的資源が集積しており、これらを活かして、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げた国際博覧会を開催することは、世界の持続可能な発展に貢献するとともに、人類の未来に向けて大いなる夢と希望を与える絶好の機会となります。

「2025日本万国博覧会」の大阪・関西誘致の実現に向けて、指定都市市長会は、誘致活動を応援していきます。

平成29年7月11日
指定都市市長会